

主な個別事業

令和8年度当初予算案

佐賀県立大学 設置準備事業

4.3 億円



令和11年4月開学に向けて、着実に

具体化プログラムを前進

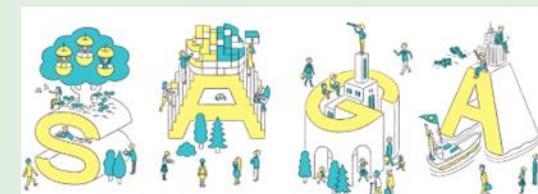
大学の根幹となるカリキュラムなどを検討

- 専門家チームの運営
- 教育内容・大学運営に関する調査・研究
- 教員公募(R8.4~)
- 第1期生に向けた広報の実施(新高校1年生)
・パンフレット、HPの作成 等

大学施設の設計

目指す大学像を実現する施設の設計

- 既存建物の改修設計、新校舎の新築設計 等



地域に愛され、
ともに成長する大学に！

ものづくり産業×福祉 佐賀型産福連携プロジェクト

1,100 万円

佐賀県は、農福連携のトップランナー

農福連携とは



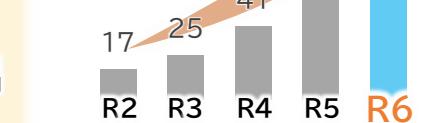
新たな働き手の確保 生きがいの創出



2024年 フレッシュ賞
2025年 準グランプリ

自治体で初受賞!!

連携取組数も
増加中



R4からコーディネーターを配置し
マッチングを支援

一方で

県内企業が抱える課題

人材不足

多様性向上

社会貢献

etc...



そこで

農福連携のノウハウを
横展開！
産業・福祉で連携

新規

さんふく
産福連携コーディネーター（2名）が伴走支援

ものづくり
産業×福祉



ニーズの掘り起こし
業務の切り出し
マッチング
企業向けセミナー 等



企業・工場



福祉事業所

企業の多様性向上

企業価値の向上

生産性向上

受注件数増

障がい者の収入増

活躍の幅が拡大

産福Win-Winとなる連携モデルを創出

“佐賀型仕事体験” 移住支援事業

600 万円

『さが暮らし』の良さをPRし移住を促進



仕事に関する支援も合わせて、移住支援策を重層的に展開してきた



サポートデスクによる
移住・仕事の相談対応



移住関連イベント



コミュニティづくり
交流会



佐賀県
新春UJIターン
就職相談会
帰省タイミングでの
就職相談会

【佐賀県調べ】
佐賀県への移住者は
20~30代が
約6割

【内閣府調べ】
移住への不安
仕事に関することが
約5割
仕事に関する支援を強化

そこで、“移住×仕事体験”かけ合わせた新たな取組

新規

“佐賀型仕事体験”移住支援事業

移住検討者に、佐賀ならではの仕事体験ツアーを提供

【伝統産業体験】



工芸品の制作など

【農業体験】



農作業に従事など

【企業体験】



化粧品試作
体験入社など



移住希望者向け
オンラインセミナー



佐賀でのリアルな仕事体験で移住につなげる



移住!

福祉・医療の充実のための関連事業

3.7 億円

佐賀県は、

様々な困難を抱えている人の想いに寄り添う



医療的ケア児への支援

新生児の聴覚検査機器導入支援
マスククリーニング検査拡充取組を行ってきた
人工呼吸器の
非常用電源機器購入支援

透析患者の通院支援

障害者ボランティアグループの
活動支援家から出づらい状態にある方の
就労体験事業

不育症の検査・治療への支援 児童発達支援センターの連携強化

双子や三つ子など
多胎家庭の支援

そして、来年度は

新規

24時間365日 精神医療相談体制の構築



小さな困りごとも相談対応可能

本人や家族が安心して暮らせるように支援

新規

唐津市に困難を抱える女性の相談窓口設置



佐賀市と唐津市の2拠点で相談対応

DV、生活困窮をはじめ困難を抱える女性への支援を強化

新規

こども入院時の、付き添い家族の負担軽減

休憩スペース整備や簡易ベッド購入等を行う医療機関
を支援し、少しでも快適な環境を提供

拡充

ひとり親家庭医療費の現物給付化

市町が負担する医療費の2分の1を補助
申請手続不要で、ひとり親家庭の負担を軽減

困難を抱える人へのサポートをさらに充実

想いつながる “さがすたいいる” 事業

4,600 万円

お互いの想いに寄り添い、しぜんに支え合う

佐賀らしい、やさしさのカタチ「さがすたいいる」



理解する、体験する、一緒に時間を過ごすことを大切に取り組んできた
さがすたいいるフェス



小学校の授業で活用



さがすたいいる Book



県立図書館
みんなの森



パートナーシップ
宣誓制度



学校への出前講座

SAGA2024全障スポ

佐賀さいこう！
国際運動会

バリアフリー化補助金



来年度は「さがすたいいる」のさらなる浸透を図る

新規

さがすたいいるmonthの実施



11月を「さがすたいいるmonth」と位置づけ
集中的に取組を実施

- 市町、CSO、企業と連携したイベントを県内各地で開催
- さがすたいいるの理解を深めるための「Let's sagasutaiiru」トークの実施
- 公共交通機関と連携した情報発信



©DESIGNALIKE

新規

さがすたいいるパートナー企業認定制度を創設



理念に共感し、普及に取り組んでくれる企業を
パートナー企業に認定

- 従業員向けの研修や、周知の実施
- さがすたいいるに関する情報発信への協力

さがすたいいるの輪を広げ、みんなが心地よく過ごせる佐賀県に

子育てし大県“さが”プロジェクト

15.6 億円

出会い・結婚
縁カウンターさが

妊娠・出産
プレコンセプションケア

子育て
さが子育てエール便

子育てし大県“さが”タクシー

拡充
さがウェディングストーリー ともかじ ともいくじ
共家事・共育児

マイナス1歳からのイクカジ

佐賀で子育てしたい！

佐賀県 × mamari

SAGA PAPA 育休アシスト

中学3年生へのピロリ菌の検査・除菌

新刊児童書の全点購入

入会からマッチングまでオンライン化し利便性向上

婚活イベント開催

拡充 SAGAふりかけプロジェクト

佐賀の口ス食材(眠れる“お宝”)で作った
さがふりかけ“OTAKARA”的配付を全小学生に拡大
食べ物への感謝の気持ちを大切に、
食品口スについて考える



新規 いじめ みんなでピリオド。プロジェクト

いじめ防止に向け、一人一人が自分の言動を見つめ直す意識啓発となる動画を制作・配信

人の痛みがわかる
優しさをもった骨太な子どもへ



拡充 縁カウンターさが

結婚を希望する方々の出会いを応援！



拡充 ほいくのたね。プロジェクト



プロフェッショナルな司書が活躍 “本 Voyage さが！プロジェクト”

3,000万円

図書館は「知の拠点」 本と人をつなぐ司書は「人生のナビゲーター」

発達段階に応じた、子どもの読書活動を推進



中高生ビブリオバトル



新規

「司書県さが」推進事業



佐賀県



SAGA WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

司書 教育拠点の 構築

佐賀女子短期大学と連携

- ✓ 司書向けオンデマンド講座開設
- ✓ コーディネーターによる受講生フォローアップ
- ✓ 司書専用ポータルサイト開設

司書県さが

講座は3種類

- ・司書資格コース
- ・学校司書コース
- ・継続的まなびコース

令和11年度
開催予定!!

全国図書館 大会佐賀大会 準備

情報発信、広報

- ・司書のしごと、お薦め本紹介
(新聞、リーフレット、SNSなど)



「佐賀県立図書館60年のあゆみ」より引用

佐賀大会は114年ぶり
(前回、大正4年開催)

司書の活躍に光を当てる

「司書のつどい」を毎年開催(R2~)

司書が活躍し、県民の“まなび”を支える佐賀県に

31

Society5.0に向けてデジタル実証フィールドさが事業

6,900 万円

2021年開始



2026年 企業と連携し、新しい取組がスタート！

これまで、県内の様々なフィールド(場所・業種等)で
デジタル実証実験を実施



新規

Society5.0実証

✓ 超高精細カメラや高機能マイクで試合を撮影



✓ 映像・音声をAIで自動編集



✓ 過去の名シーンを没入感を持って再現

新規

そら 宙への扉プロジェクト

佐賀県

<http://www.pref.saga.lg.jp/>

東京海上スマートモビリティ



東京海上日動

NIPPON KOEI



広域で異常を
早期発見

衛星データ × ビッグデータ × AI

走行映像で
危険箇所を把握

道路の陥没や損傷を
自動検知する仕組みを実証

道路陥没などの重大な事故の予防につなげる

デジタル活用で便利で快適な社会実現に挑戦

SAGAパラスポ2026 開催事業

1,300万円



SAGA 2024

- ・ SAGA2024でできたパラスポーツの輪を大切に、パラスポを盛り上げたい
- ・ 障がいのある方々の目標となり、モチベーション維持につながる大会を作りたい

佐賀独自のパラスポーツ全国大会「**SAGAパラスポ**」を開催！

2025

計6競技を開催
団体競技 約25チーム、個人競技 約160人 が参加



バレー ボール (知的)



フライングディスク



バレー ボール (聴覚)



ゴール ボール



ボッチャ

車いす
バスケットボール

2026

さらにソフトボール(知的)を追加
計 7 競技を開催
SAGAパラスポ

チームからの
声を受け追加！



すべての人に、スポーツのチカラを。



多様なニーズに対応 SSPアスリート寮整備事業

1,400 万円

現在、3か所のSSPアスリート寮を運営中



練習に打ち込める環境を整備し
競技生活をサポート



民間企業の社宅等を活用した
全国初の官民連携高校生アスリート寮



佐賀地区は学校も集中しており、入寮希望が多い
特に女子は7棟に対し46名の入寮希望者

(令和8年度佐賀寮の入寮希望調査)

競技や指導方針で食事や練習時間が異なるため
柔軟な運用ができる住まいを希望する声も

新たな寮整備が必要な状況

新規

県の未利用財産を有効活用し
新たなアスリート寮(女子寮)を整備

多様なニーズに対応できる新たな運用スキームの寮

旧高木瀬教職員宿舎（佐賀市若楠）

- * 県で整備し、フロア単位で希望する団体に貸し出し
例：1階はA高校ソフトボール部、2階はB高校柔道部、3階は…など
- * フロア毎に食堂、監舎を整備
- * 入居団体のニーズに応じたフレキシブルな運用が可能



40名程度が
入居可能

R8年度 基本・実施設計

R9年度 改修工事

R10.4 運用開始(予定)

▶ 屋根・外壁の改修
屋根瓦の葺き替え、外壁塗装改修 等

▶ 居室の改修
浴室、トイレなどの水回り入替
フローリング化、食堂の新設 等

アスリートの育成をさらに支援



世界の文化創造拠点 ARITA プロジェクト

1.7 億円

日本を代表する本物の文化を体感できる、
世界レベルの文化観光エリアをつくる事業

ACEプログラム
(文化庁)

自治体で
唯一採択!

文化への関心が高く、本質を求める欧米からの旅行者をメインターゲットとし
佐賀でしかできない陶磁器文化ツーリズムを創出していく



有田の町全体を陶磁器文化が肌で感じられる“生きたミュージアム”に

心に響く本物の文化体験コンテンツづくり

事業者等の取組を伴走支援 (コンテンツ造成、受入環境整備)



九州陶磁文化館を文化観光ハブ拠点へ

展示リニューアル

インバウンド旅行者を
惹きつける展示空間へ
(令和8年度は設計)



有田の町全体を舞台に文化観光を推進

吉野ヶ里遺跡「魅せる収蔵庫」整備検討事業

2,800 万円

世界に誇る佐賀の大切な財産「吉野ヶ里遺跡」



“謎のエリア”石棺墓に続く墓域の発掘を継続中！



そこで
圧倒的な量の「本物」の出土品を、
収蔵したまま見せる「魅せる収蔵庫」に挑戦

「魅せる収蔵庫」

- ・膨大な埋蔵文化財資料を収蔵したまま展示
- ・収蔵品の本物の価値と圧倒的な数量で、来場者を魅了



収蔵に関する現状

- ・出土品は学術的価値が高いが分散されて収蔵
- ・収蔵容量の限界、収蔵施設の老朽化



コンテナ約5万箱

新規

R8年度

基本構想・基本計画を策定

R8.3月

展示研究の最先端を走る東京大学総合研究博物館と連携協定締結、
全国的に例のない「魅せる収蔵庫」創設に向けた構想・計画を策定

- ・東大総合研究博物館が持つ、高度な知識・技術、ノウハウを活かす
- ・東京大学の考古学との継続的な調査が可能に

新たな埋蔵文化財の収蔵に挑戦、吉野ヶ里遺跡の価値を高める

文化観光の推進 LiveS Beyond Xプロジェクト

1.2億円

多彩な文化資源があふれる佐賀県
これまで「文化」と「観光」を一体的に推進



R8年度

さらに文化観光を強力に推進するために

佐賀県観光連盟を
佐賀県文化観光連盟(仮)に機能強化

LiveS Beyondをさらに進化
これまでの文化活動の支援や文化コンテンツ創出に加え、文化観光モデルの創出に挑戦



【2020~2022】

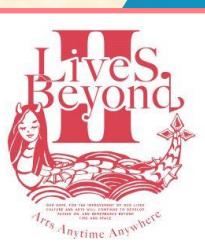


「コロナ禍でも文化の灯を消さない」

オンライン配信やそのための資材購入を補助し、文化活動の継続を支援。3年間で320公演を支援。

LiveS Beyond
“X”

未知数
=無限の可能性



様々な文化資源(場所・人・モノ)を繋ぎ、これまでにない新たな文化シーンを創出。
多久聖廟 × 現代アート
器・酒・音を楽しむ など
3年間で48公演を支援

新規

「LiveS Beyond X」プロジェクト

◆文化観光モデル創出事業

文化イベントを
観光のコンテンツに

宿泊

消費

アドバイザリーボード
(専門家集団)

専門的知見

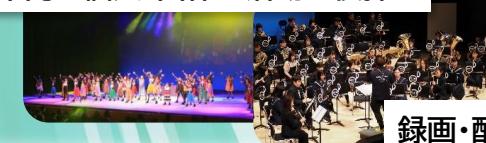
イベント来場者を
周遊・宿泊につなげる

◆県内各地でのプレミアムな文化コンテンツ創出

様々なジャンルで卓越した
文化芸術誘致・コラボ

◆文化活動のコンテンツ化支援

県内の個人・団体の活動を後押し



録画・配信による活動の磨き上げ

鍋島焼献上の歩み展 in タイ開催事業

1,500 万円



新規

鍋島焼献上の歩み展 in タイ王国 開催

令和6年シリントーン王女殿下へ献上
佐賀県とタイ王国「文化交流に係る覚書」締結から10年目、
日・タイ修好140周年の節目



開催時期：令和9年2月（予定）
開催会場：バンコク国立博物館

さらに同会場にて…

佐賀の伝統工芸品の展示
伝統工芸制作実演 実施予定



諸富家具・建具、名尾手漉き和紙、のごみ人形など

鍋島焼をはじめ、伝統工芸品の認知度向上・販路拡大につなげる

唐津エリア横断連携事業（唐津プロジェクト）

2.2 億円

世界海洋プラスチック
プランニングセンター
PLA PLA

× ツール・ド・九州 × ルート・グランブルー ×

KMAP
(唐津マリンアクティビティパーク)



世界海洋プラスチックプランニングセンター〔PLA PLA〕
2026年6月にオープンするにあたり、
県内の小・中学校に体験料等を支援



2026年10月10日(土)
佐賀県 初開催！

コース
検討中



期待の新アクティビティ！
2026.4月下旬サービス開始！

NEW

パラセーリング
非日常体験
究極のアクティビティ



唐津を誰もが楽しめるマリンエリアへ

ビーチイベント
Grand Blue 2026 7月開催

2025の実績

来場者数(前年比)
238%

来場者満足度
98%

若者・ファミリー
(40代以下)
88%

むしろこれから 鹿島・太良 プロジェクト

20.7 億円

肥前鹿島駅

肥前鹿島駅をフロントとした
「沿線えきやど」

肥前浜駅



肥前七浦駅



肥前飯田駅

「地域全体がホテル」
古民家など色々なところに
宿泊できる仕組み

多良駅

肥前大浦駅

R8
年度

新駅舎建築工事

コンセプトは
“non-station”打ち出すべきは
“relation”

人と人とのつながりを大切に、
スローツーリズムを展開。

「KAshima」と「TAra」で未来を語らう

KA
TAラボ

自発の地域づくり



竹崎スターナイト



令和8年度～
新駅舎建築工事
令和9年度
新駅舎OPEN
供用開始

令和10年
開催

全国都市緑化フェア・山の博覧会開催準備事業

2.1億円

平成29年7月九州北部豪雨

山を大切に!
強い思い佐賀の
山、緑の価値を
未来につなぐ

令和10年 春

夏

秋

全国都市緑化フェア from SAGA
(SAGA GREEN JAM) 3月25日~5月28日開催

新規

山の博覧会
(SAGA JAM) 令和10年春~秋開催活動を未来に向けて
さらに推し進める場に山の魅力は
色んな営み

トライする

型にはめ込まない

やってみたいことを
好きなタイミングで佐賀県全体を
フィールドに自発の地域づくり
発表の場自由に描く
お絵描き帳令和8年度
緑化フェア・山の博覧会の広報
自発の地域づくりや緑化活動の機運をさらに高める

アンバランスの良さ

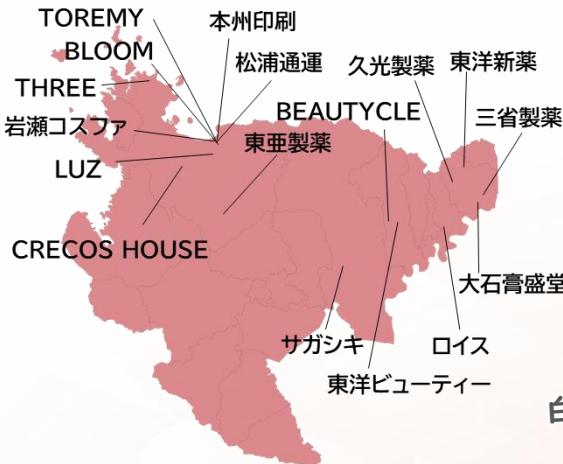


コスメ国際カンファレンス in SAGA 開催事業

3,200 万円

コスメティック構想の推進

コスメティック産業の集積地



自然由来原料の供給地



情報の発信



新たな動き

2025.6



アジアコスメを世界に広げるため
GCC Asia-Pacific Division設立

国際的なコスメ産業クラスター・ネットワーク
「GCC」のアジア地域部会
日本（佐賀）、韓国、台湾、タイで構成

2026.4開設



SAGA UNIVERSITY

日本の国公立大学で初
コスメティックサイエンスを学べる
学環が、佐賀大学に誕生

話題

30人定員の
オープンキャンパスに
2日で560人の申込み
県と連携協定も締結

新規

未来へのチャレンジ

令和9年3月予定

コスメ国際カンファレンス in SAGA 開催

-International Conference & Expo in SAGA- (仮)
Asian Beauty & Cosmetics NEXT 2027 (ABC NEXT)

01 最先端の技術を佐賀から世界へ発信

02 最新のアジアコスメを中心に
「アジアの美しさ」を世界へ発信

03 世界のコスメ業界関係者が
佐賀に集結・交流



コスメビジネスの拠点都市へ

さが伝統産業交流促進事業

1,800 万円



新規

SAGA CRAFT WEEK(仮)

“体験” オープンファクトリー



匠の技に“触れる”



手作りの温かさを“感じる”



陶土製造現場を“知る”



ものがでる工程を“学ぶ”



作り手から直接“習う”



難しさ・達成感を“味わう”

挑戦する担い手を応援

“交流” クロストーク



県内伝統産業の作り手に加え、デザイナー、バイヤー等が登壇。作り手の価値観やものづくりへの想いなど、伝統産業を深く理解する機会を創出。

佐賀県伝統産業の持続発展へ

さが園芸888運動推進事業

888
SAGA-engei

27.6 億円

磨き、稼ぎ、未来へつながる さが農業・農村へ

令和元年度から収益性の高い園芸農業を振興する
「さが園芸888運動」を展開

稼ぐ農業
の実践
所得の
向上
好循環
新たな担い手
の確保



ブランディングによる収益性UP



新規就農者のため
研修から就農までを一貫して支援



トランナーによる栽培指導



トレーニングファーム整備



園芸団地整備

たまねぎ・きゅうりの
生産拡大



新たな露地野菜の産地づくり
(ブロッコリー、焼酎原料用サツマイモ等)

平坦地での果樹園地の拡大

さらにR8年度は

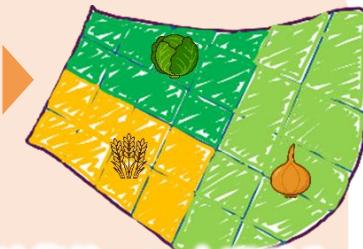
1 農地をスケールアップ

農地
集約

専門チーム
「農地集約タスクフォース」の設置
新規

協力金
交付

農地の出し手へ協力金を交付
交付額:5万円/10アール



農地集約 ⇒ 大区画化

2 企業参入をサポート

企業に「選ばれる佐賀県」へ



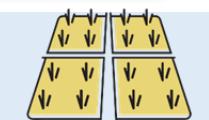
3 さが園芸をブラッシュアップ

気候変動
対応

栽培体系の転換と対策徹底
高温適応型栽培 等

次世代
新品種

次世代新品種の開発を加速
新規



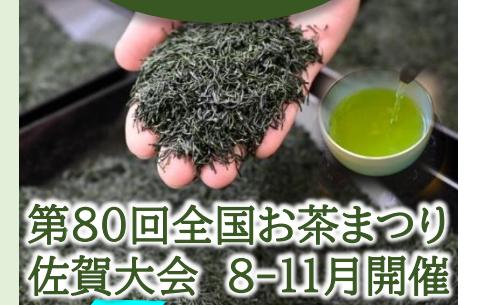
担い手不在の農地 × 農業を志す企業

【農業版】企業参入奨励金

奨励金
交付

初期費用を支援
上限:1千万円
新規

2026年
27年ぶりに開催



第80回全国お茶まつり
佐賀大会 8-11月開催

玄海・有明海 水産業振興事業

13.2 億円

気候や漁場環境の変動に対応するために、様々な事業を推進

玄海海域

近年の動向

藻場にガンガゼが増え、磯焼け箇所の増加



アカウニ等の水産資源の減少



ケンサキイカの不漁



有明海海域

二枚貝の減少



ノリは取組の成果もあり、赤潮やノリの色落ちの対策は継続的に必要



駆除+放流

ガンガゼの駆除でウニやアワビが棲みよい環境づくり



アカウニ種苗の放流 (15万個)



複合経営

はえ縄漁等との複合経営の検証
イカ釣り業と“はえ縄漁”(クエ、ブリ、クロマグロ)等との複合経営を試験的に検証



資源回復

海底耕うんによる二枚貝が棲みよい環境づくり



サルボウ大量放流 (200万個)



モデルの構築

海況予測システムの開発
水温、潮位に続き、赤潮を予測
→養殖管理の提案



新規

貧栄養海域での養殖モデル実証
栄養添加技術の実証



藻場の回復と高単価なアカウニの漁獲量の増加

イカ釣り漁業者の所得向上

高品質海苔の生産やサルボウ漁獲量の回復

佐賀を支える社会资本整備推進事業

388 億円



人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

SAGA

お問い合わせ先
佐賀県 総務部 財政課

TEL:0952-25-7015
Mail:zaisei@pref.saga.lg.jp